

# 海外伝道 ニュース

卷頭言

## 『あなたによって祝福に入る』

海外伝道部・部長：長澤 牧人師

**人**類に対する神の約束は、アブラハムに与えられました。「地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る。(創世記12章3節：新共同訳)」神の救済のドラマは、アブラハムから始まります。神はアブラハムの子孫を通して「地上のすべての氏族」を祝福すると約束しました。アブラハムの子孫であるイスラエル民族を通して約束が実現するはずでした。

アブラハムの子孫であるイエス・キリストを通して、地上のすべての民族が祝福される条件が整いました。だから、新約聖書は次の言葉で始まります。「アブラハムの子孫、ダビデの子孫、イエス・キリストの系図。(マタイによる福音書1章1節)」

ところが、地上のすべての民族を祝福するはずの福音に、大きな壁が立ちはだかりました。その壁とは、律法に熱心なユダヤ人キリスト者、つまりアブラハムの子孫ユダヤ民族(イスラエル民族)でした。パウロはこう証言しています。「ケファ[ペテロ]は、ヤコブの元からある人々が来るまでは、異邦人と一緒に食事をしていたのに、彼らがやって来ると、割礼を受けている者たちを恐れてしり込みし、身を引こうとしたからです。そして、他のユダヤ人も、ケファと一緒に、このような心にもないことを行い、バルナバさえも彼らの見せかけの行いに引きずり込まれてしましました。(ガラテヤの信徒への手紙2章12節-13節)」

**多**くのユダヤ人キリスト者は、律法を守らない異邦人キリスト者との食事(聖餐)を拒否しました。パウロはユダヤ人の迫害に耐えながら異邦人に福音を宣べ伝えました。パウロを駆り立てた信念がこのように記録されています。「信仰によって生きる人々こそ、アブラハムの子であるとわきまえなさい。聖書は、神が異邦人を信仰によって義となさることを見越して、『あなたのゆえに異邦人は皆祝福される』という福音をアブラハムに予告しました。それで、信仰によって生きる人々は、信仰の人アブラハムと共に祝福されています。」

**他** 民族に福音を宣べ伝える宣教師は、「地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る」という神の約束の実現に努めています。この約束は未完のプロジェクトです。神は「地上の氏族は祝福に入る」とは約束しませんでした。「地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る」と言ったのです。神は、直接祝福するのではなく、人を介して祝福に入れなのです。つまり神の呼びかけに答えて福音を伝える「あなた」によって他民族は祝福に入ります。



# the LEGENDS

人生をかけて、異国の地・日本に来られた歴代の宣教師～レジェンド：立役者～。  
 その命がけの情熱によって、キリストと出会える恵みに預かっている現代の私達。  
 今回、日本AG教団・組織創立の原点である、ジュルゲンセン師ご一家のご長女、  
 〈マリア・ジュルゲンセン師〉をご紹介します。日本宣教の召命を胸に父母と共に  
 来日し、少女の頃から主に仕え、日本人に仕えて下さった《レジェンド》の一人です。



特集

## マリア・ジュルゲンセン師

【戦前～戦後の激動の時代、愛と平和の福音宣教】

### 靈に満たされ、示された日本へ

マリア・ジュルゲンセン師。カール・フレデリック・ジュルゲンセン師の長女として1902年誕生。アメリカ・クリーブランドにて聖靈のバプテスマを受け、恵みに満たされた母フレデリケ師と父カール師。「主のためにどこへでも参ります！」との祈りに、神様から「Japan！：日本へ」と語られたそうです。導きを祈る中、フレデリケ師に与えられた幻を通して、日本宣教の召命を受けとったカール師は、ただ神様のみに頼り、あてもなく知人もいない日本への渡航を決意されました。

一家は、娘のマリア師とアグネス師を連れてアメリカを出港し、天洋丸での13日間の航海を経て、1913年(大正2年)8月11日横浜に入港。マリア師、その時12才。カール師の路傍伝道の通訳を14才から始められました。

伝道には、上野や浅草周辺まで出かけて行くこともあり、聴衆は200～300人程集まりました。帝国大学の近くに店舗を借りて、伝道の拠点となる福音館に改造しました。3年間に3つの福音館が開設され、救いのメッセージが語られていきました。

当時書かれた、アメリカの兄弟姉妹へのカール師の手紙にはこのように記されています。

『集会前に私たちは日本人のクリスチヤン一團と福音歌を歌い、太鼓を叩きながら、近所に集会を知らせるため道を行進しました。また2、3か所で集会前に路傍伝道をしました。2、3人が倒れ、多くが主の幻を見ました。毎晩12時近くの別れの時、彼らの顔は輝いていました。3人の大切な

魂が使徒行伝2章4節の洗礼を受けました。ハレルヤ！』

### 日本AG発祥の神召キリスト教会、誕生

2年間の休暇を終えたマリア師ご一家は、1924年に再来日。前年9月に起きた関東大震災の影響で、焼け野原になった都心から滝野川町に拠点を移し、天幕伝道が開始されました。1925年、カール師の多大な尽力により神召キリスト教会の敷地を購入。その地で数週間にわたり天幕伝道が行われ、1927年10月に待望の献堂式がなされました。

神召キリスト教会の主管牧師として任せられた弓山喜代馬師により、1929年から伝道者養成のため、聖靈神学校(現・中央聖書神学校の前身)が開始されました。マリア師と妹・アグネス師は弓山氏と共に神学校で教鞭をとって下さいました。マリア師は、戦後3年目の1948年に再来日され、1950年の中央聖書学校の設立、及び伝道者養成に情熱をもって貢献して下さいました。

同年、神召教会の青年たちの働きにより、十条商店街にて、青空日曜学校が開始されました。マリア師と弓山師により現在の土地が購入され、その年には教会堂を建設。十条基督教会としての伝道の働きが本格化していきました。



▲ご一家が来日された天洋丸

(出典：mccjag、「消えることのない宣教の炎」より)



写真左：C.F. ジュルゲンセン師ご一家 ▶

[後列] マリア師、アグネス師)

[前列] フレデリケ師、カール・F・ジュルゲンセン師

## 【マリア・ジュルゲンセン宣教師 略歴】

1902年 C.F.ジュルゲンセン師の長女として誕生  
1913年 日本に渡来（12歳）  
1924年 関東大震災翌年、再来日 / 天幕伝道開始  
1925年 北区滝野川に土地購入  
1927年 神召キリスト教会、献堂  
1937年 神召キリスト教会にて「いずみ保育園」創設  
1940年 8月 父・C.F.ジュルゲンセン師、召天  
1941年 日米開戦のため帰国  
1948年 再来日 / 十条商店街にて青空日曜学校を発端とし、十条基督教會、献堂 / 武藏野市西窪（後、武藏野キリスト教会）  
と板橋区志村（後、志村キリスト教会）にて家庭集会開始

the  
**LEGENDS**



1949年 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団、設立  
1953年 新中野キリスト教会、献堂 / 中央福音会館、建設  
（1962年移転し、現・中央福音教会となる）  
1954年 山脇師就任と共に「志村キリスト教会」会堂を建設  
1956年 保谷キリスト教会（現・西東京キリスト教会）献堂  
1968年 西東京キリスト教会付属「サフラン愛児園」創設  
1969-1972年 関東教区合同婦人大会・講師  
1991年12月8日召天（90歳）

戦後來日したマリア師は、西窪と志村でも家庭集会を開き、いずれも後任者の働きにより、教会として、現・武藏野キリスト教会、志村キリスト教会に発展しています。

## 教会での幼児教育、開始

弓山師とマリア師の教会の将来に対する長期的な展望により、1937年、神召キリスト教会の会堂の半分を仕切って保育室とし『いずみ保育園』が開設されました。園児たちが成長し立派な信徒になっていったことが、マリア師と保母であった弓山師の次女・江草恵美子師との喜びとなりました。

さらに、1937年から翌年にかけて、マリア師の尽力により西東京・保谷に約960坪の土地が購入されました。マリア師の『キリスト教の愛と精神を土台とした、よりよい教育をこの地域の子ども達に』との願いにより、1968年、西東京キリスト教会（元・保谷キリスト教会）付属の『サフラン愛児園』が創設されました。現在50年以上の歴史を経て、1,000人以上の卒園者を送りだし、2世3世が入園するようになっています。

## 教団挙げての天幕伝道から

第二次世界大戦後の1951年、教団挙げての新宿西口での天幕伝道は『ジュルゲンセン師及びチエスナット師が責任をもたれ、連続集会、300名の決心者が与えられ顕著な聖靈のみ業を仰いだ』と記されている（『教団時報』第16号）。これが発端となり、宣教師の尽力を得て、1953年、100坪の土地に高円寺教会（現・新中野キリスト教会）が献堂されました。



▲伝道の拠点となった福音館

▲日本AG教団創立総会。

この時の天幕伝道でのマリア師の様子が『教団時報』第13号「天幕伝道記」に、このように描写されています。

『マリア師が講壇に立たれる。ヨハネ伝1章1～8節が読まれる。或る時は流れる水の如く、或る時は燃え上がる炎の如く、綿々縷々として上手な日本語がほとばしり流れる。贖罪の真理が深々と説かれて行く。（中略）ヨハネ伝9章の生來の盲人はあなたの精神的姿ではなかろうか。この時、神はあなたに呼びかける。『シロアムに往きて洗へ』と。キリストの十字架、これはあなたの目を開くシロアムであると魂に迫る。忽ち恵みの座への招待である。人々は懺悔の思いに涙しつつひれ伏す。懇切な指導はづく。心に信じ口に言い表せとうたえる。恵みの座より立つ人々の顔は幸福そうに見えた。』

神様のみに信仰を置いて、その召命に従い、故郷から遠く離れた未知の国・日本へ来て下さったマリア師とジュルゲンセン師ご一家。お一人一人の救靈への情熱と行動によって、私たち日本人は大いなる確かな神様の恵みに預かることができました。

人を建て上げ、献身者を建て上げ、多くの教会を建て上げて下さったご一家の尊い働き、又それら全てを導かれた神様の溢れる恵みに、深く深く感謝するものです。

### 参考資料：

- ・日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団関東教区(2003).『神の国はこうして拡大していった 1953-2002 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団関東教区50周年記念誌』.関東教区50周年記念誌・編集委員会.ペーテルフォト株式会社.
- ・日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団(1999).『みことばに立ち、御靈に導かれて～教団創立50周年誌～』.日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団・教団史編纂委員会.ペーテルフォト印刷株式会社.
- ・日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団・関東北東教区(2013).『C.F.ジュルゲンセン師来日100年記念～消えることのない宣教の炎～』.mccjag. <https://youtu.be/0eV3L0Ek-Io>

今回、主に参考にさせていただいた映像：  
「C.F.ジュルゲンセン師来日100年記念  
～消えることのない宣教の炎～」  
必見です！（日本AG・HPに掲載あり）



報告 :

# 【3月 Mission Possible @ CBC】

## 今年2月27日、ハイブリッドで "Mission Possible"を開催しました！

ちょうど3年前の2020年2月、教職研修会参加目的で帰国される宣教師達と共に、藤沢オリーブチャペルを会場にMission Possibleを開催する計画をしていました。しかし、コロナ感染拡大により、1週間前に研修会の中止が発表され、帰国されていた宣教師達と関東地域の海外伝道部員のみでの開催となつたのでした。

この3年間、対面で集まれない中、オンラインでのMission Possible開催形式を試行錯誤で模索し続けました。曜日や時間帯を変え、宣教報告だけでなく、バーチャル体験ツアーも実施しました。そして、ようやく今回2月27日(月)夜、中央聖書神学校(CBC)チャペルを会場に、対面とオンラインでのハイブリッドでMission Possibleを開催できたのです！4年ぶりの教職研修会参加のために帰国された丸山陽子師夫妻、山城良美師が会場にて、ビザ申請中で帰国できなかった関本師はZoomにて、宣教報告をされました。

宣教師になることを決意した原点であるCBCは特別で、もう一度この場所で主に触れられて宣教地に戻りたい、と真摯に主に期待される【丸山師】、イスラム教徒への伝道という特殊な挑戦に立ち向かわれる【関本師ご一家】、日本アッセンブリーが積み上げてきた山岳地帯での宣教を受け継ぐという重責にも果敢に取り組む【山城師】の証と報告に、この宣教の働きを喜んでおられるという主の臨在が会場には満ち溢れ、宣教師を送り出し支援することは、なんという特権であり祝福なのか、と改めて確信させられました。

宣教師に会いたい、と寒い夜道片道1時間をかけて来た若者たちを始め、来場下さった方々、Zoom参加された方々の姿に励まされました。〈報告：チュアめぐみ〉



▲宣教師に会いたいと寒い夜に  
ご来場くださった皆さん♪  
(会場26名、Zoom約50名参加!)



山城師・丸山師ご夫妻



集会後には、山城師  
お手製のフィリピン  
料理「シネガング」  
スープや、丸山師からの  
台湾の種類豊富な興味深い  
お菓子を食べながら、  
交わり、靈肉共に  
温まる特別な時間を  
持てたことを感謝します！

## 祈祷課題：あなたの祈りが、世界宣教を支える！



～台湾・原住民伝道～  
丸山陽子宣教師

- ① 体調の回復
- ② 原住民青年リーダーの育成
- ③ 原住民への差別が無くなるように

～フィリピン・ダバオ～  
関本英樹＆美奈子宣教師

- ① ご家族の健康とご息女の小学校での学び
- ② 子ども伝道の働きの広がり
- ③ 若い世代に御言葉を伝える機会が、  
与えられるように

～フィリピン・山岳地帯～  
山城良美宣教師

- ① ブリジット師の癒し
- ② 拠点教会のため
- ③ トゥバオ、ピドウクの会堂建築
- ④ サントトマス、パリナ開拓
- ⑤ 山城師の健康と安全、語学の上達

## 宣教師に関するご報告

3月の理事会で、  
山城良美・短期宣教師の  
第2期目が承認され、  
4月から2期目に入りました。  
引き続き、お祈りとご支援  
お願ひいたします。  
※ 短期宣教師の  
任期は2年。

## 特別企画：

# 2023夏の宣教体験ツアー・開催！

「宣教地を見る！御業を知る!!」体験しませんか。  
今年もツアー開催予定！詳細は後日お知らせします。



in 台湾

台湾宣教体験ツアー

8月4日(金)～11日(金/祝)  
8日間



in フィリピン

フィリピン・ダバオ  
宣教体験ツアー

8月15日(火)～21日(月)  
7日間